

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宇都宮メディア・アーツ専門学校
設置者名	宇都宮美術学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門	放送・映像・音響科	夜・通信	72 単位	6 単位	
工業専門	建築インテリアデザイン科	夜・通信	69 単位	6 単位	
文化・教養専門	ビジュアルデザイン科	夜・通信	64 単位	6 単位	
文化・教養専門	まんがアート科	夜・通信	66 単位	6 単位	
工業専門	建築インテリアデザイン研究科	夜・通信	36 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公開 https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001/info0001

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宇都宮メディア・アーツ専門学校
設置者名	宇都宮美術学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公開 https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001/info0001

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社藤井産業	H29.5.31～ R2.5.30	有識経験者として 助言をしてもらう
非常勤	株式会社日産建設	H29.5.31～ R2.5.30	有識経験者として 助言をしてもらう
非常勤	株式会社栃木放送	H29.5.31～ R2.5.30	有識経験者として 助言をしてもらう
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宇都宮メディア・アート専門学校
設置者名	宇都宮美術学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各学年、各授業でシラバスを作成している。成績の評価については、授業時数の 2/3 以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価することを就学規則に明示し学生に配布している。</p> <p>評価については、評価基準表により、秀・優・良・可・不可の 5 段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して日時を設定し追試験を行う場合がある。</p> <p>評価基準点は試験点 70 点、出席点 30 点として評価する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>事務室前の閲覧場所に設置</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。</p> <p>試験やレポートだけではなく、課題に対してはプレゼンテーション等を実施し学習成果を確認し成績の評価に付加している。学生が行うプレゼンテーションはクラス全員の出席と担任や学科主任も同席する。</p> <p>卒業制作についても個人あるいは複数での制作を認めている。卒業制作についても同様のプレゼンテーションを実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>評価の基準は、当該教科の2/3以上の出席が評価対象である。その他、出席状況、試験結果、課題の出来栄等を考慮している。</p> <p>各科目、半期ごとに試験や課題の提出を行い、100点換算で評価を行う。</p> <p>成績評価は、秀・優・良・可・不可の5段階評価で、秀100点から90点、優89点から80点、良79点から70点、可69点から60点、不可59点以下で、評価基準点は試験点70点、出席点30点としている。</p> <p>期末試験結果をもとに個人別全科目の平均点値を算出。学科ごと学生ごとの平均点分布を求める。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>就学規則を作成し、学生に配布している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中で不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>就学規則を作成し、学生に配布している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宇都宮メディア・アーツ専門学校
設置者名	宇都宮美術学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001
収支計算書又は損益計算書	https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001
財産目録	https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001
事業報告書	https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001
監事による監査報告（書）	https://sites.google.com/media-arts.ac.jp/info0001

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	放送・映像・音響	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	72単位	3単位	69単位	0単位	0単位	0単位
			72単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		44人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科、各授業でシラバスを作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績の評価については、授業時数の2/3以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価する。評価基準表により、秀・優・良・可・不可の5段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して、日時を設定し追試験を行う場合がある。 評価基準点は試験点70点、出席点30点として評価する。

卒業・進級の認定基準 (概要)
卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中で不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。
学修支援等 (概要)
クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	12人 (92%)	1人 (7%)
(主な就職、業界等)			
マスコミ サービス			
(就職指導内容)			
<p>学生ごとの個別面談形式による就職指導。 業界企業の経営者を招いての業界研究を踏まえての講話。 フリーのイラストレーターを招いての独立支援。 多数の企業を招いての学内企業説明会の開催。 自己分析ツールを使ってのキャリアプラン作成。 身だしなみ・立ち居振る舞い講座。 応募書類の書き方・履歴書用の写真撮影・電話のかけ方・面接指導。 学内へのハローワーク特設窓口の開設。 養護教諭・スクールカウンセラーによる心のケア。 卒業後のキャリアアップ支援。</p>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
映像音響処理技術者資格認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	3 人	9%
(中途退学の主な理由)		
学業不振 学校生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
養護教諭、スクールカウンセラーによる心のケア。 三者面談（担任、学生、保護者）の実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	建築インテリアデザイン	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	69 単位	17 単位	52 単位	0 単位	0 単位	0 単位
			69 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		33 人	1 人	4 人	10 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科、各授業でシラバスを作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績の評価については、授業時数の 2/3 以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価する。評価基準表により、秀・優・良・可・不可の 5 段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。 ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して、日時を設定し追試験を行う場合がある。 評価基準点は試験点 70 点、出席点 30 点として評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中で不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。

学修支援等 (概要)
<p>クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	7人 (46%)	8人 (53%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
メーカー 小売 サービス			
(就職指導内容)			
<p>学生ごとの個別面談形式による就職指導。 業界企業の経営者を招いての業界研究を踏まえての講話。 フリーのイラストレーターを招いての独立支援。 多数の企業を招いての学内企業説明会の開催。 自己分析ツールを使ってのキャリアプラン作成。 身だしなみ・立ち居振る舞い講座。 応募書類の書き方・履歴書用の写真撮影・電話のかけ方・面接指導。 学内へのハローワーク特設窓口の開設。 養護教諭・スクールカウンセラーによる心のケア。 卒業後のキャリアアップ支援。</p>			
(主な学修成果（資格・検定等））			
色彩検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	1人	3%
(中途退学の主な理由)		
学業不振		

(中退防止・中退者支援のための取組)

養護教諭、スクールカウンセラーによる心のケア。
三者面談（担任、学生、保護者）の実施。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	ビジュアルデザイン	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	64 単位	0 単位	60 単位	4 単位	0 単位	0 単位
			64 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		62 人	0 人	7 人	5 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各学科、各授業でシラバスを作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績の評価については、授業時数の2/3以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価する。評価基準表により、秀・優・良・可・不可の5段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。

ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して、日時を設定し追試験を行う場合がある。

評価基準点は試験点70点、出席点30点として評価する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中に不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。

学修支援等

（概要）

クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	28人 (84%)	5人 (15%)
(主な就職、業界等) マスコミ ソフトウェア サービス			
(就職指導内容) 学生ごとの個別面談形式による就職指導。 業界企業の経営者を招いての業界研究を踏まえての講話。 フリーのイラストレーターを招いての独立支援。 多数の企業を招いての学内企業説明会の開催。 自己分析ツールを使ってのキャリアプラン作成。 身だしなみ・立ち居振る舞い講座。 応募書類の書き方・履歴書用の写真撮影・電話のかけ方・面接指導。 学内へのハローワーク特設窓口の開設。 養護教諭・スクールカウンセラーによる心のケア。 卒業後のキャリアアップ支援。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	5人	7%
(中途退学の主な理由) 体調不良 学業不振 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 養護教諭、スクールカウンセラーによる心のケア。 三者面談（担任、学生、保護者）の実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	まんがアート	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	66 単位	0 単位	66 単位	0 単位	0 単位	0 単位
			66 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		18 人	0 人	4 人	1 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科、各授業でシラバスを作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績の評価については、授業時数の2/3以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価する。評価基準表により、秀・優・良・可・不可の5段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して、日時を設定し追試験を行う場合がある。 評価基準点は試験点70点、出席点30点として評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中で不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。
学修支援等
（概要） クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (71%)	2 人 (28%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>マスコミ サービス</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>学生ごとの個別面談形式による就職指導。 業界企業の経営者を招いての業界研究を踏まえての講話。 フリーのイラストレーターを招いての独立支援。 多数の企業を招いての学内企業説明会の開催。 自己分析ツールを使ってのキャリアプラン作成。 身だしなみ・立ち居振る舞い講座。 応募書類の書き方・履歴書用の写真撮影・電話のかけ方・面接指導。 学内へのハローワーク特設窓口の開設。 養護教諭・スクールカウンセラーによる心のケア。 卒業後のキャリアアップ支援。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>色彩検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15%
(中途退学の主な理由)		
学業不振 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
養護教諭、スクールカウンセラーによる心のケア。 三者面談 (担任、学生、保護者) の実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	建築インテリアデザイン研究				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	36単位	16単位	20単位	0単位	0単位	0単位
			36単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		7人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科、各授業でシラバスを作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績の評価については、授業時数の2/3以上の出席で、テストや課題の出来栄等で成績を評価する。評価基準表により、秀・優・良・可・不可の5段階で行い、不可は未修得教科になる。担任、クラス担任、学科主任で協議し成績評価を行っている。ただし、不可科目取得者で願いのあった学生に対して、日時を設定し追試験を行う場合がある。 評価基準点は試験点70点、出席点30点として評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の条件は、本校教育課程の全課程を修了した者について認定する。ただし、学年の途中で不可科目取得者で願いのあった学生に対しては、日時を設定し追試験を行う場合がある。
学修支援等
（概要） クラス担任が個人面談や保護者を含めた面談を実施し、意欲確認を行っている。本人に問題等が確認された場合、本校のカウンセラーに面談を依頼し本人の問題解決を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
メーカー 小売 サービス			
(就職指導内容)			
<p>学生ごとの個別面談形式による就職指導。 業界企業の経営者を招いての業界研究を踏まえての講話。 フリーのイラストレーターを招いての独立支援。 多数の企業を招いての学内企業説明会の開催。 自己分析ツールを使ってのキャリアプラン作成。 身だしなみ・立ち居振る舞い講座。 応募書類の書き方・履歴書用の写真撮影・電話のかけ方・面接指導。 学内へのハローワーク特設窓口の開設。 養護教諭・スクールカウンセラーによる心のケア。 卒業後のキャリアアップ支援。</p>			
(主な学修成果（資格・検定等））			
二級建築士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>養護教諭、スクールカウンセラーによる心のケア。 三者面談（担任、学生、保護者）の実施。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
放送・映像・音響科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	年間施設費 年間学習設備費
建築インテリアデザイン科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	年間施設費 年間学習設備費
ビジュアルデザイン科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	年間施設費 年間学習設備費
まんがアート科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	年間施設費 年間学習設備費
建築インテリアデザイン研究科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	年間施設費 年間学習設備費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.media-arts.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
企業等との密接かつ組織的な連携体制の強化を図り、より実践的な職業教育を担う専門学校として学校関係者評価に毎年度取り組み、広くご意見をいただき、さらなる教育の質の向上に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
鹿沼ケーブル株式会社	H29. 4. 1～R2. 3. 31	企業
株式会社アイディ	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業
株式会社アイシークリエーション	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業
有限会社国分寺産業	H31. 4. 1～R4. 3. 31	企業

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www,media-arts.ac.jp
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>ホームページ http://www.media-arts.ac.jp E-mail nyuugaku@media-arts.ac.jp 学校案内パンフレット TEL : 0120-286-154 FAX : 028-632-8050 窓口 〒320-0806 栃木県宇都宮市中央 1-10-12</p>
--